

2012年度厚生労働省
障害者総合福祉推進事業

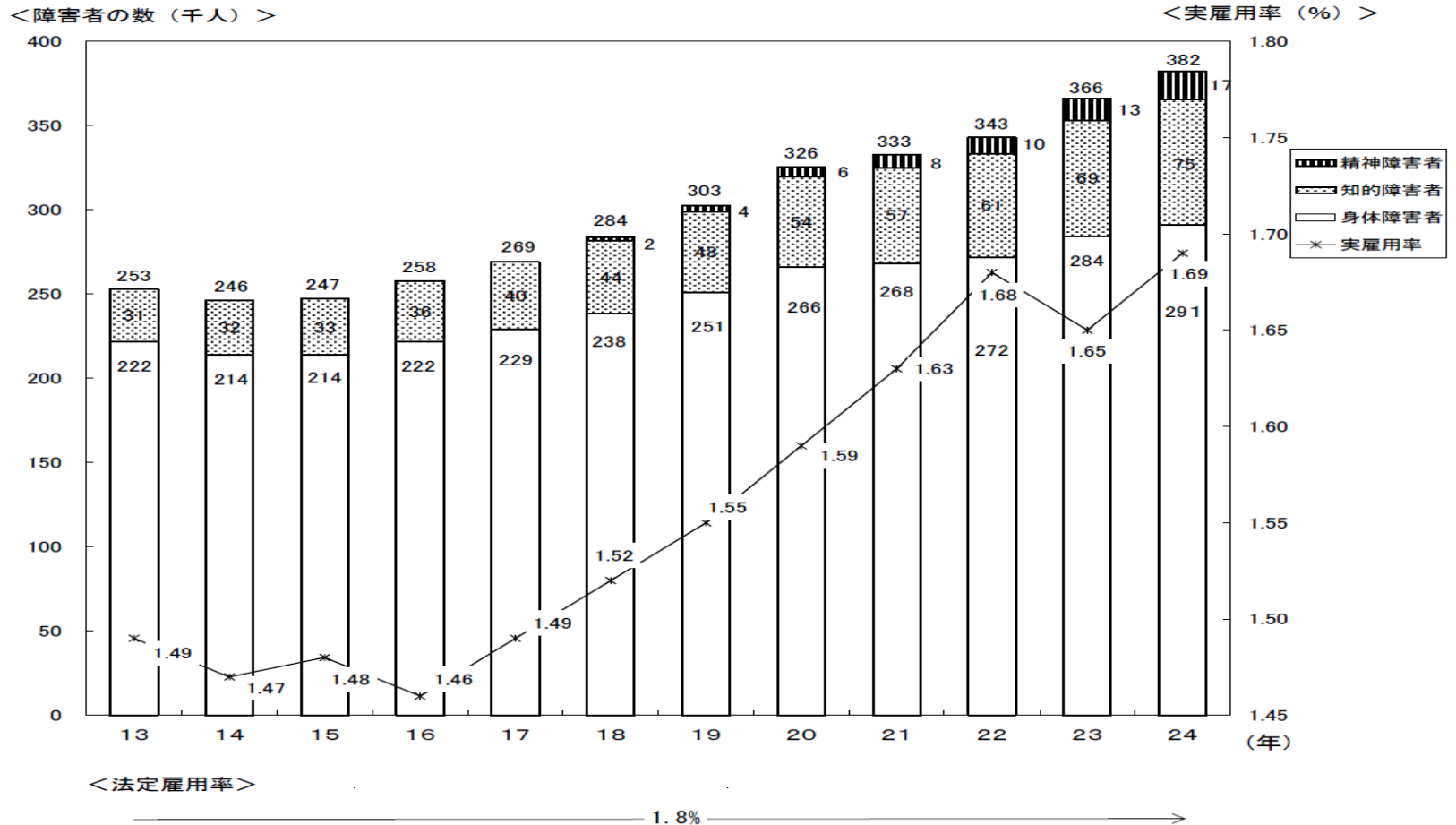
一般就労後の
職場定着フォローアップに関する調査

社会福祉法人 電機神奈川福祉センター

調査の背景

• 障害者の一般就労は進んでいる

(1) 実雇用率と雇用されている障害者の数の推移

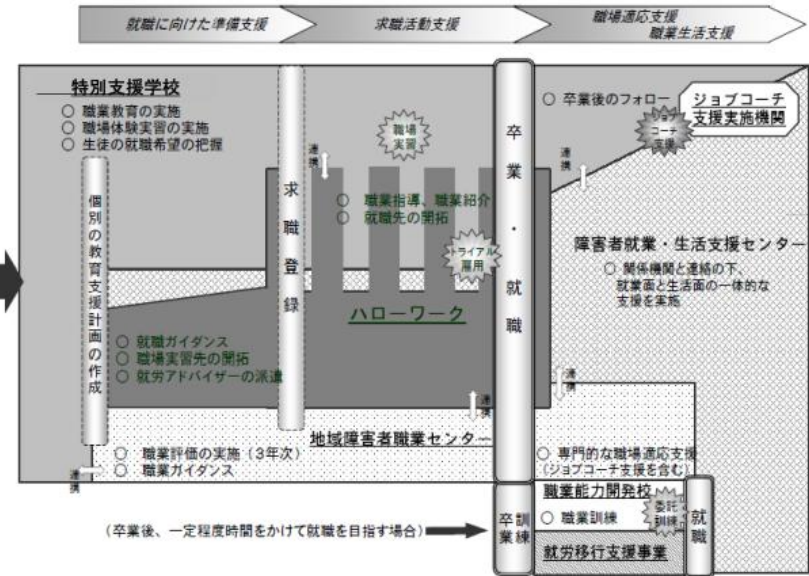


就労後のフォローアップは？

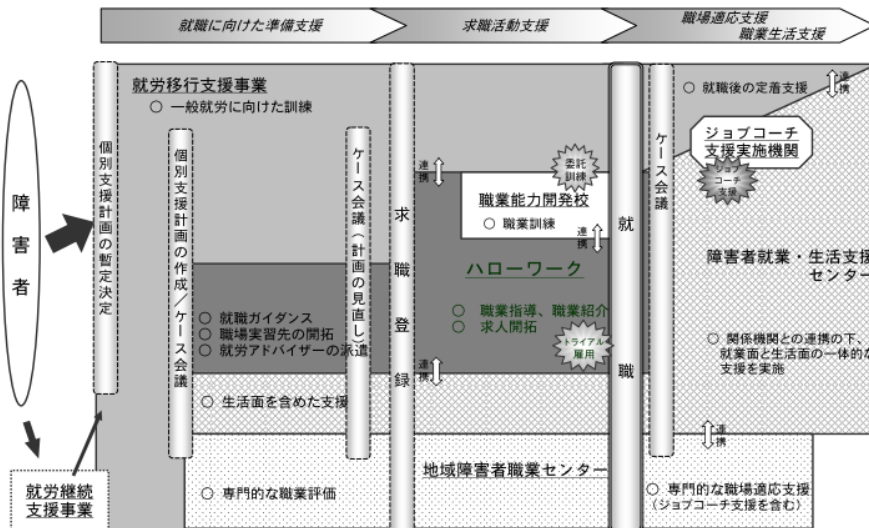
- 他機関との連携の難しさ
 - 人による
 - 福祉において就労支援はマイノリティ
 - 就労、分かってますか？
- 障害者就業・生活支援センター等支援機関への大きな負荷
 - 「何でもかんでもナカポツはやめてほしい」
 - 職員数が増えるわけではない
 - 障害保健福祉圏域大丈夫？

就労までは様々な機関が関わるが...フォローは

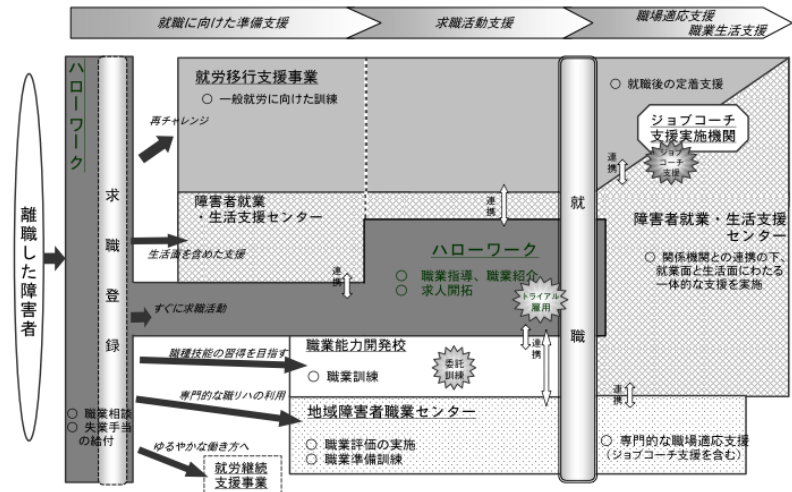
特別支援学校卒業者が就職・定着するまでの標準的な支援



福祉施設を利用している障害者が就職・定着するまでの標準的な支援



離職した障害者が就職・定着するまでの標準的な支援



調査の概要

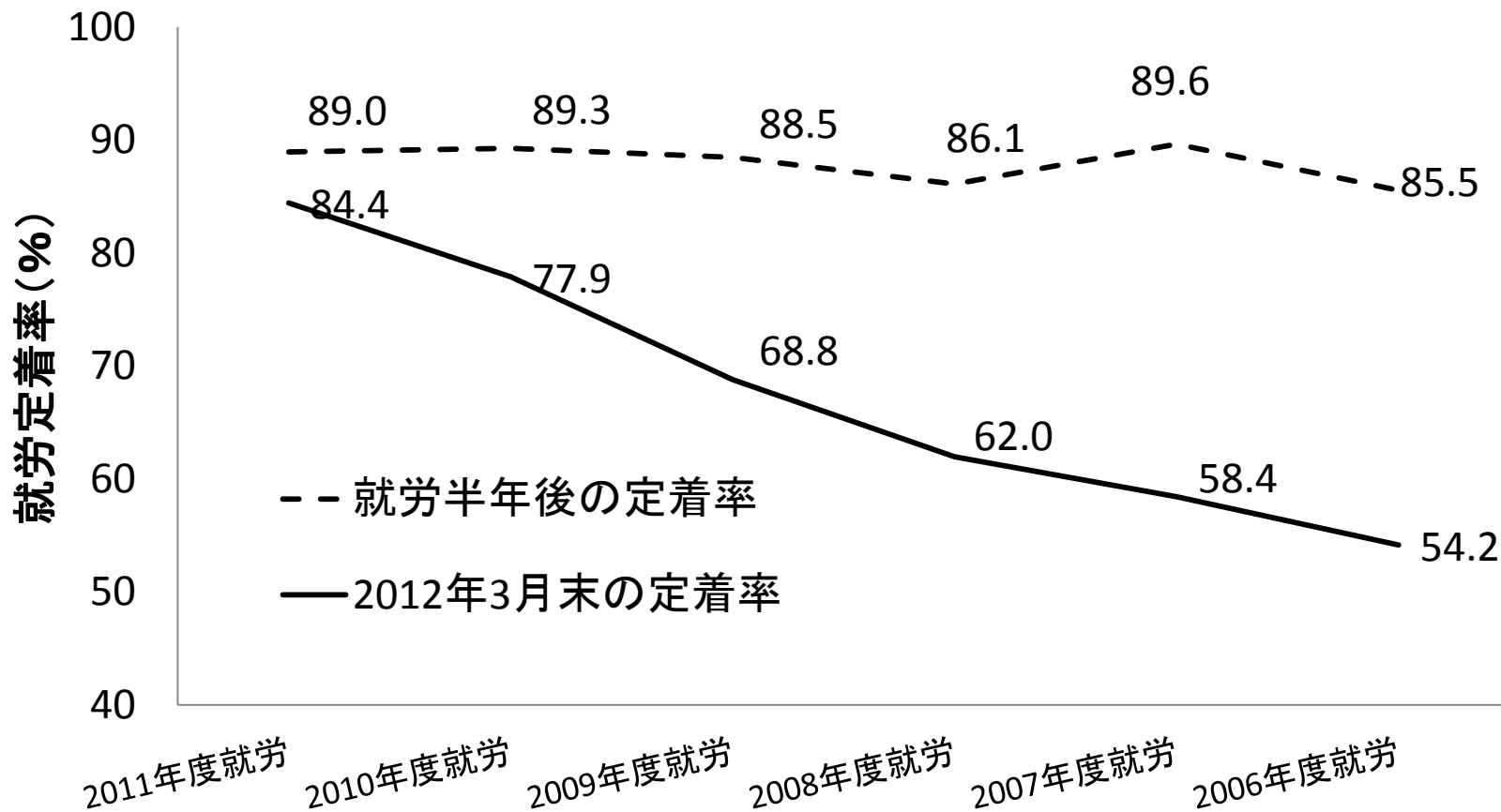
- アンケート調査(1090事業所)
 - 調査期間:2012年8月20日から約一ヶ月(10月末まで回答有)
 - 就労移行支援事業所764カ所(抽出)
 - 支援機関326カ所
 - 障害者就業・生活支援センター315カ所(悉皆)
 - 自治体独自の支援機関11カ所(抽出)
- ヒアリング調査
 - 全国24カ所の事業所・法人(帯広から奄美大島まで)
 - 世田谷区就労障害者生活支援センター
 - 各務原市立各務原養護学校 地域支援センター

アンケートの回収率

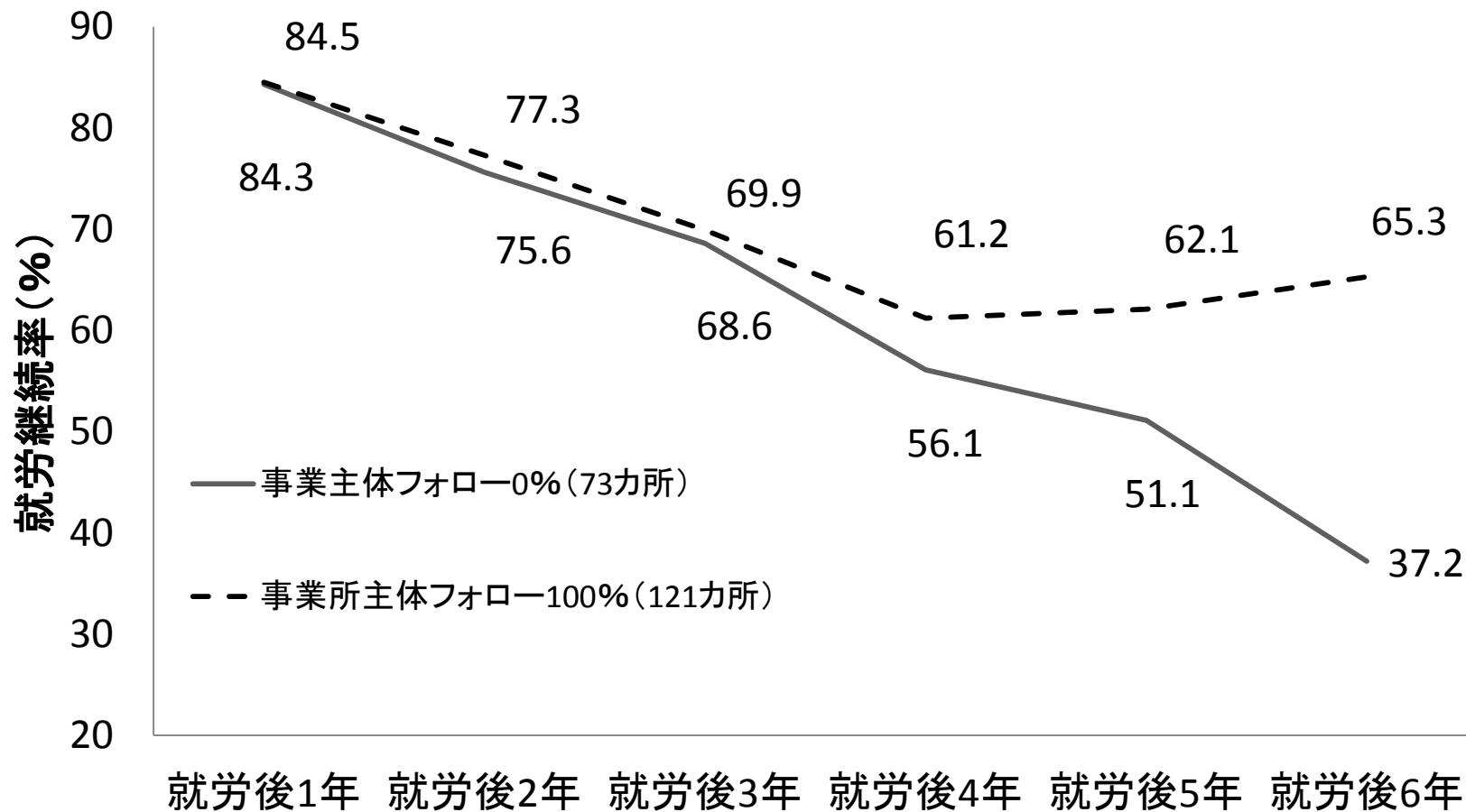
- 就労移行支援事業所
 - 発送数: 764通
 - 回収数: 459通 (回収率: 60%)
 - データ分析対象: 391事業所
 - データの整合性が取れないものは分析対象外
- 支援機関
 - 発送数: 326通
 - 障害者就業・生活支援センター: 315通
 - 自治体独自の支援機関: 11通
 - 回収数: 170通 (回収率: 52.1%)
 - データ分析対象: 141事業所
 - データの整合性が取れないものは分析対象外

平均定着率(就移)

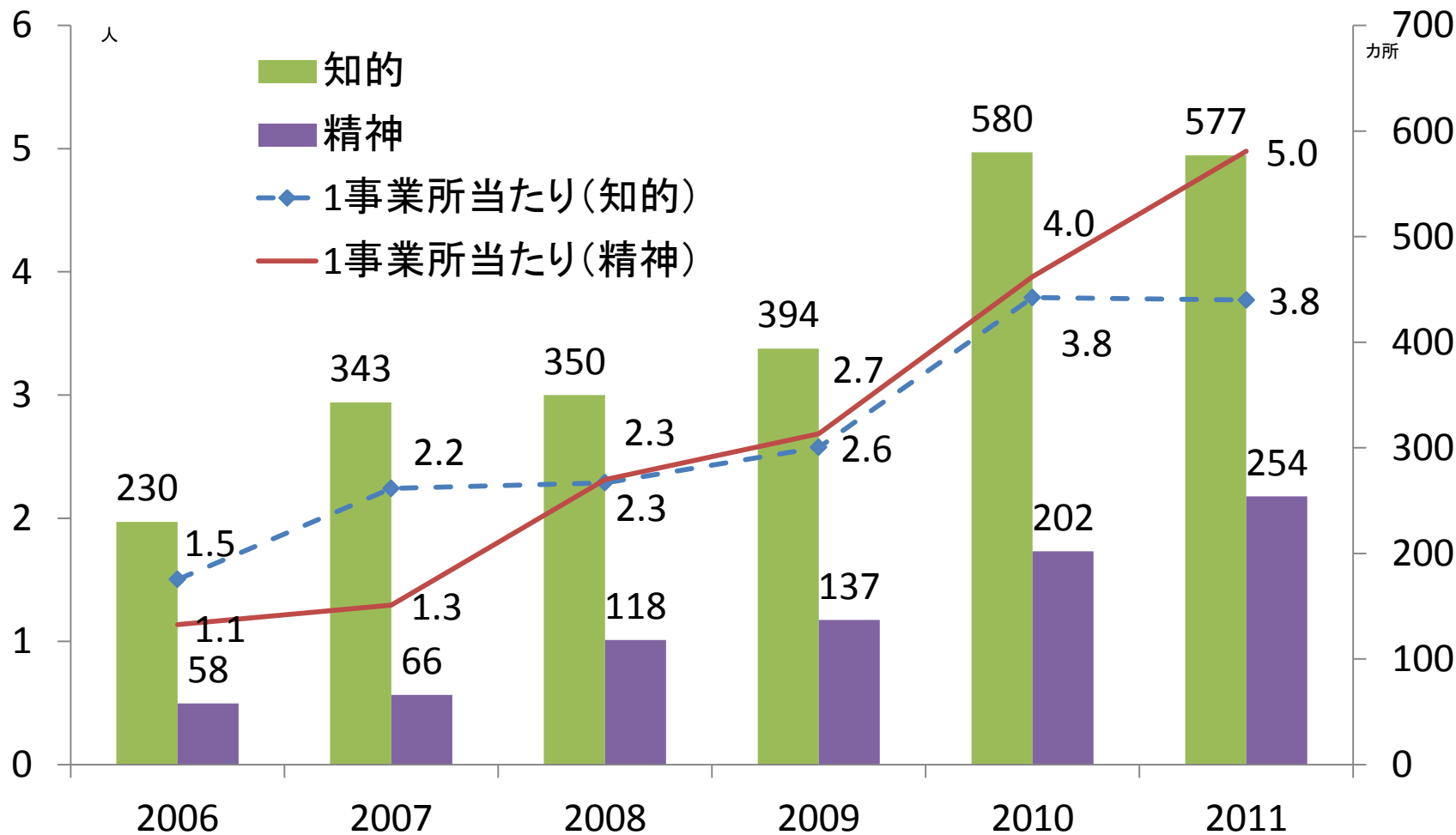
就労者の平均定着率(N=391)



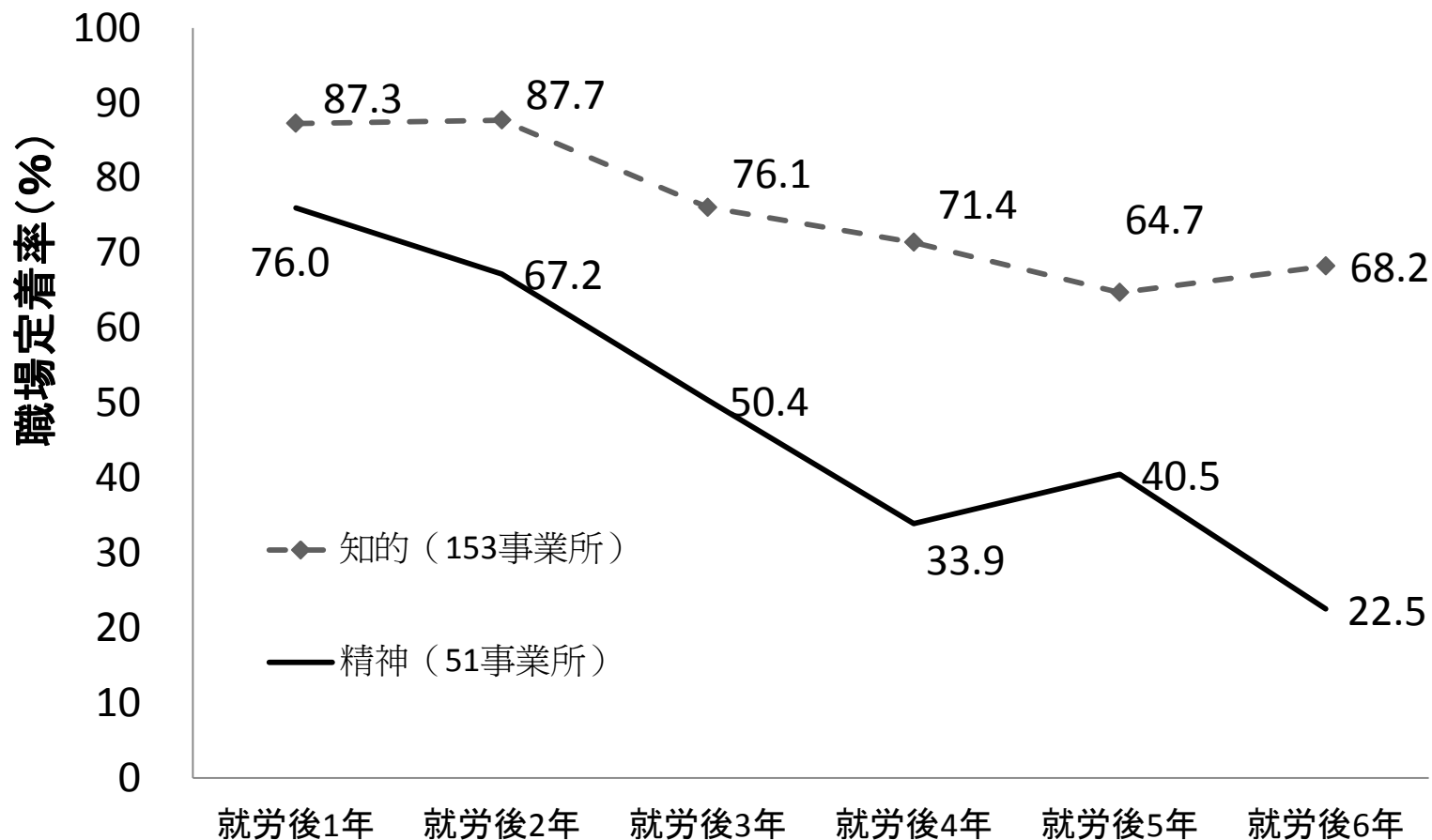
定着支援の主体別定着率(就移)



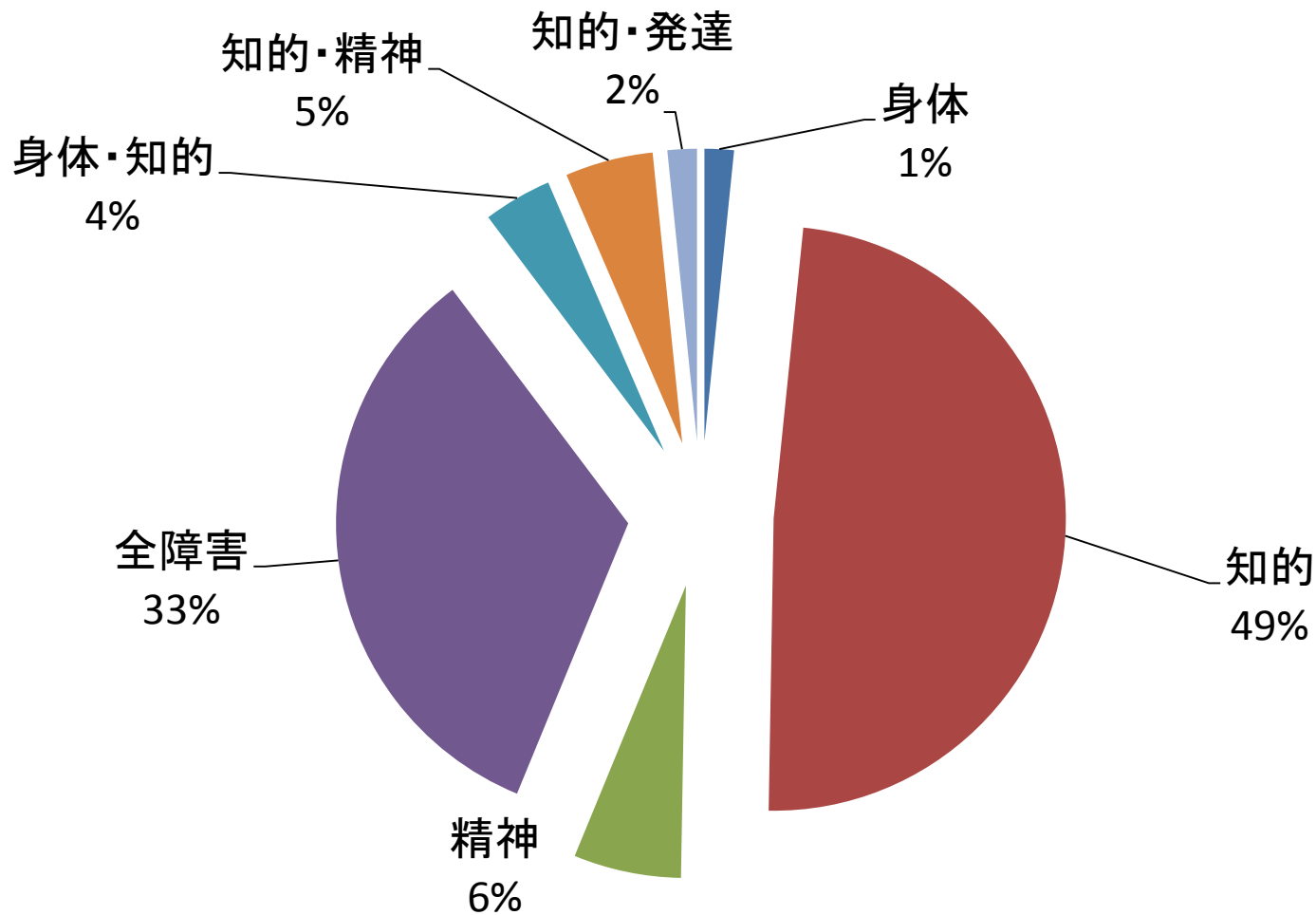
主たる対象者による比較 (知的障害と精神障害)



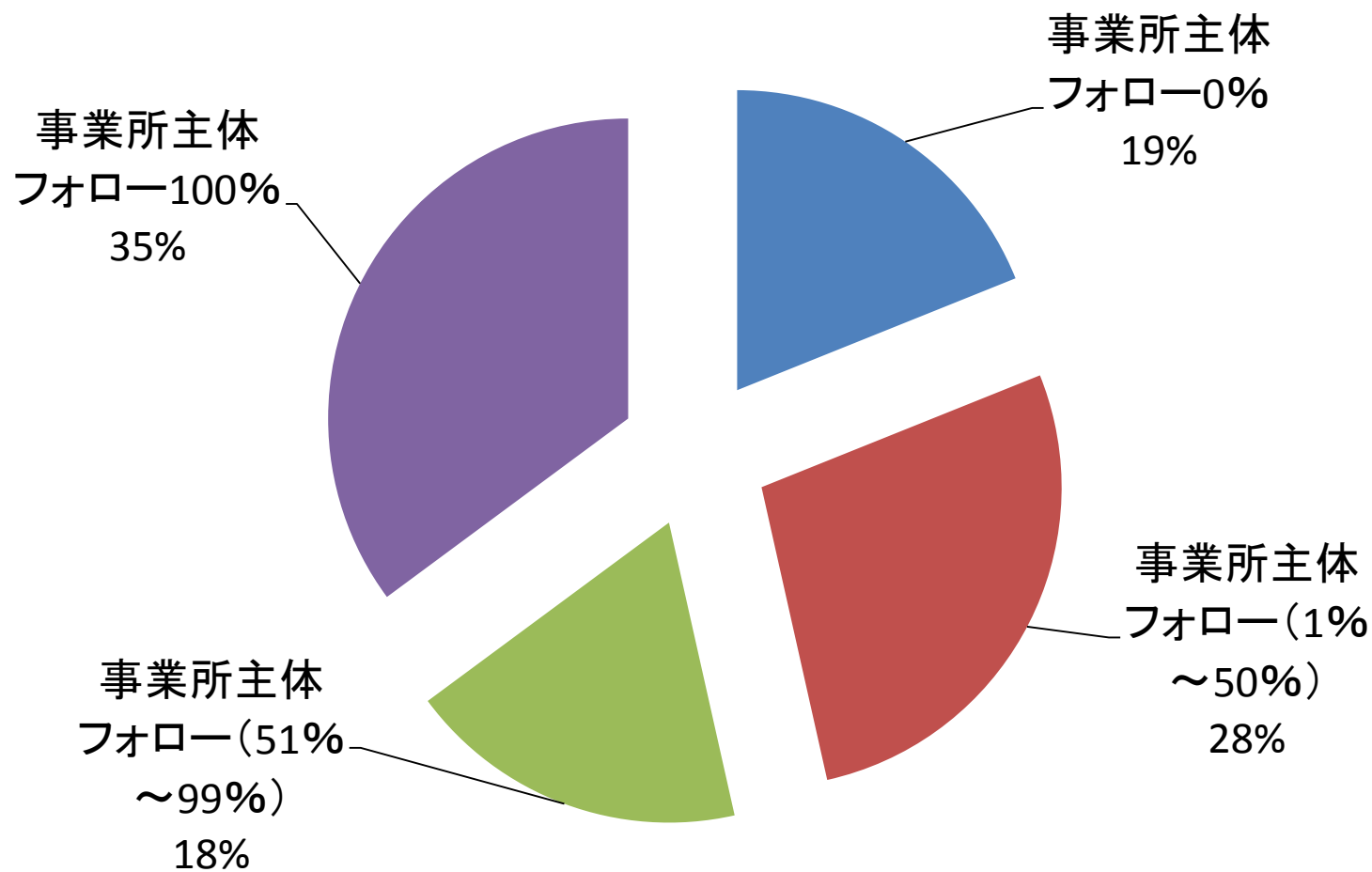
主たる対象者による定着率比較 (知的障害と精神障害)



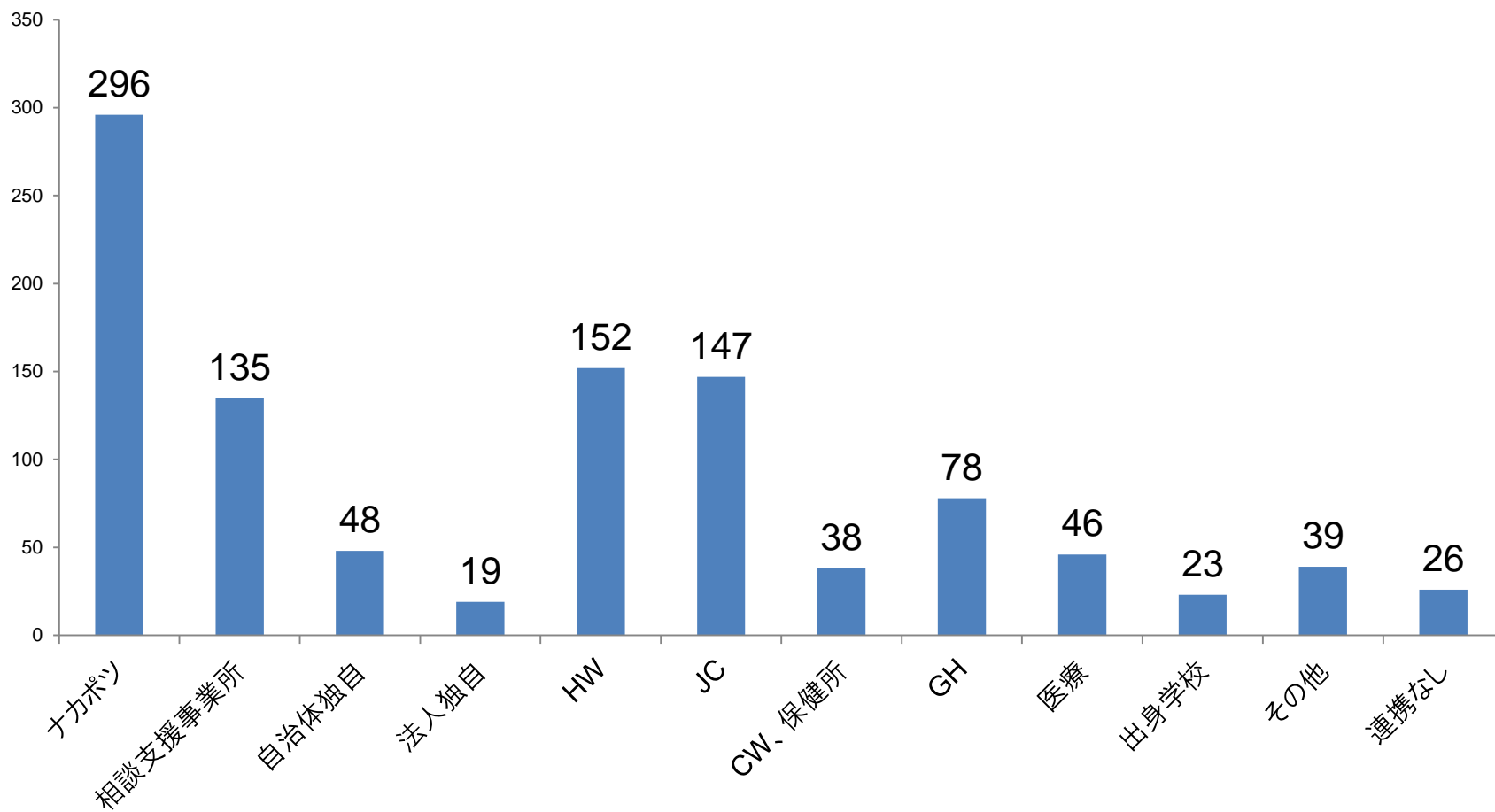
平均定着率80%以上の事業所 主たる対象者 (n=185)



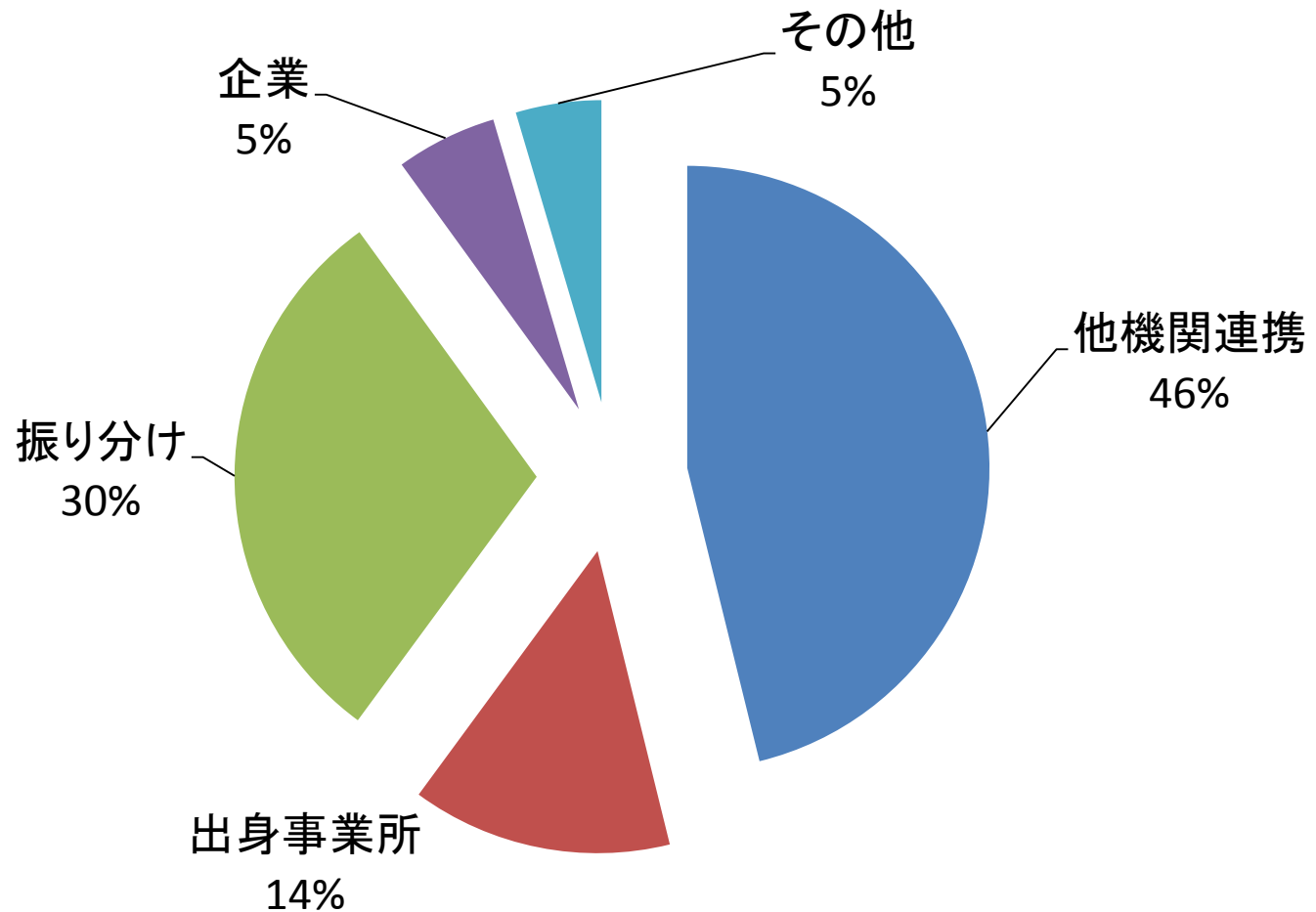
平均定着率80%以上の事業所 定着主体割合 (n=185)



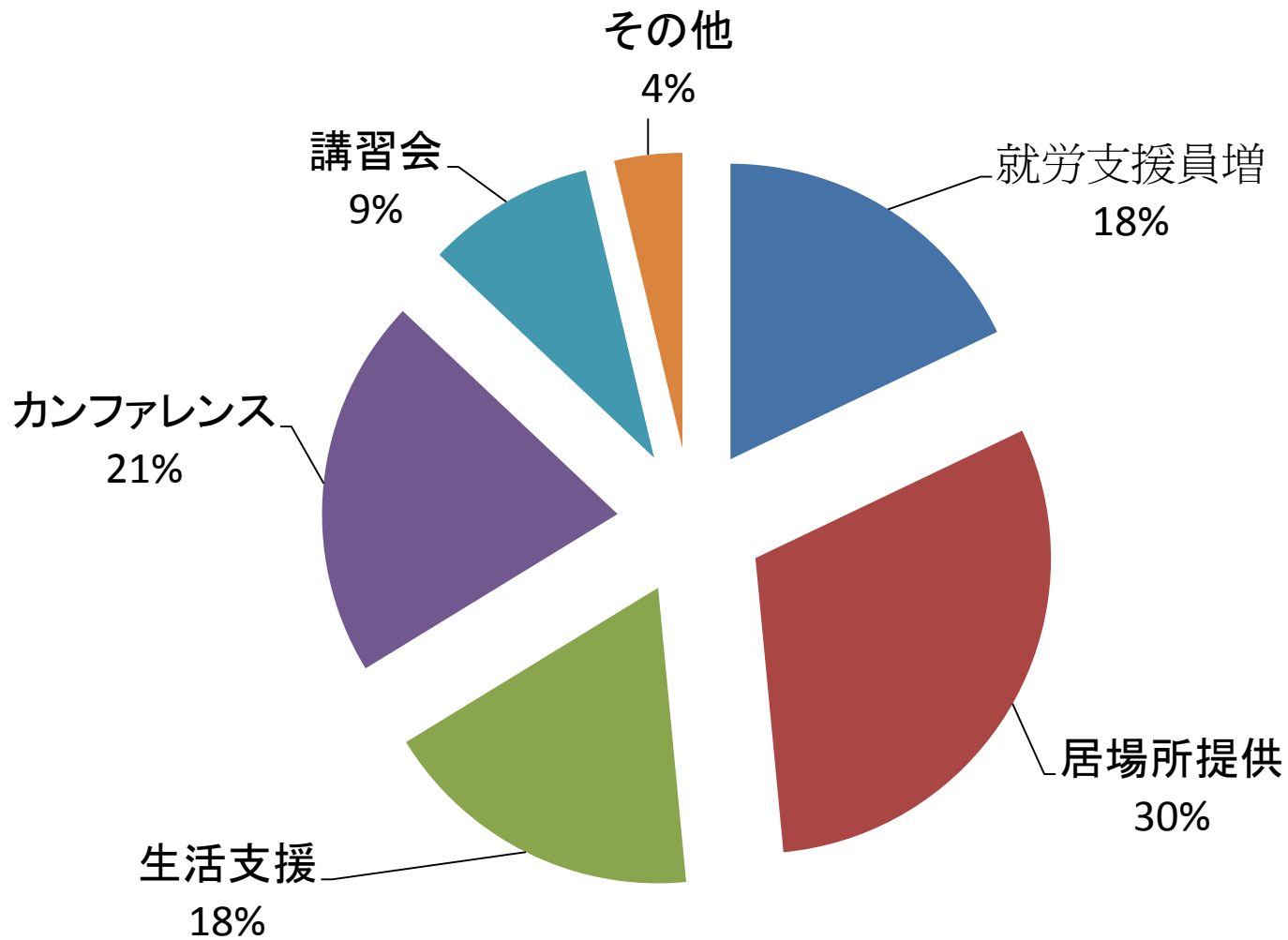
定着で連携している事業所（就移）



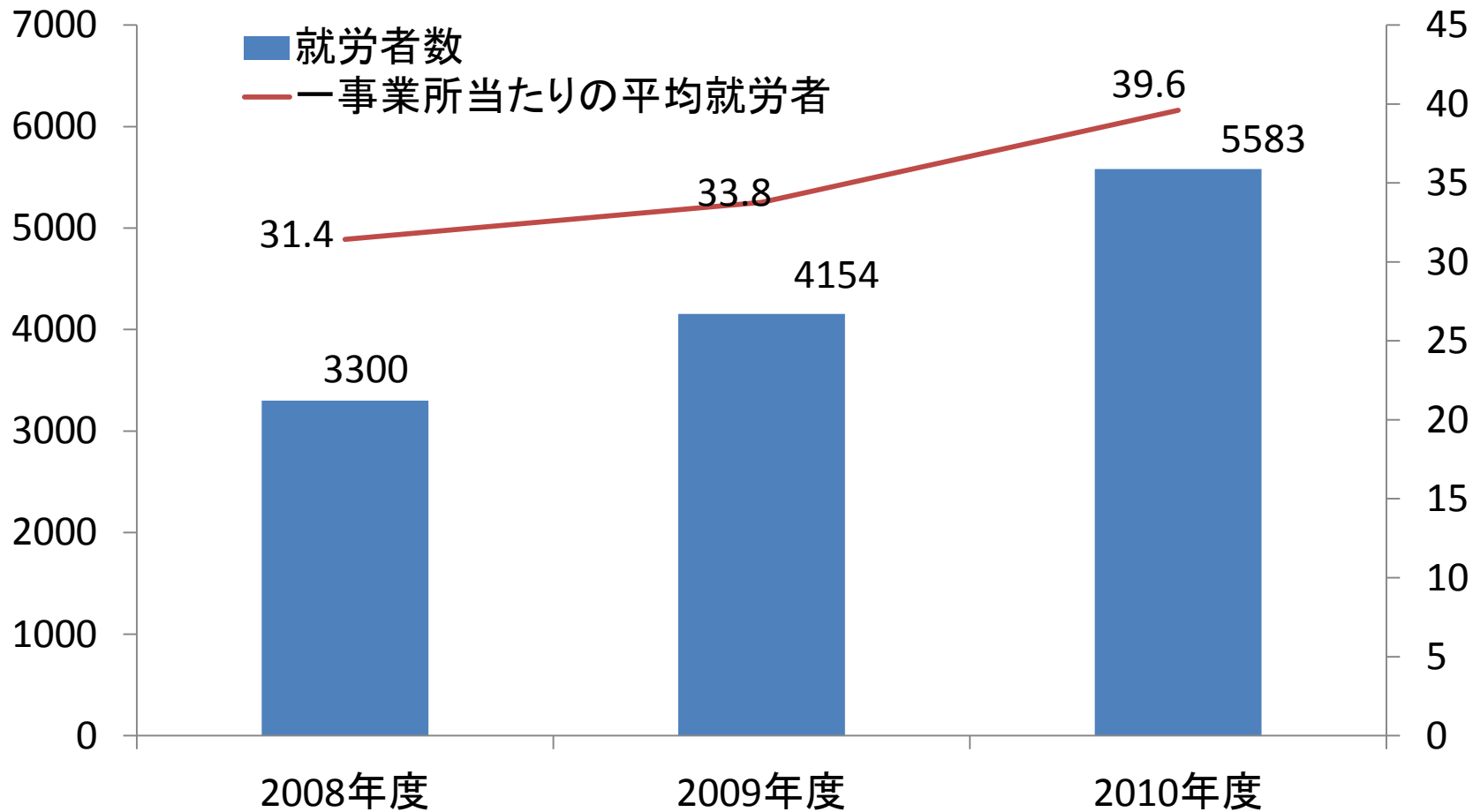
定着支援をどの機関が行うべき？（就移）



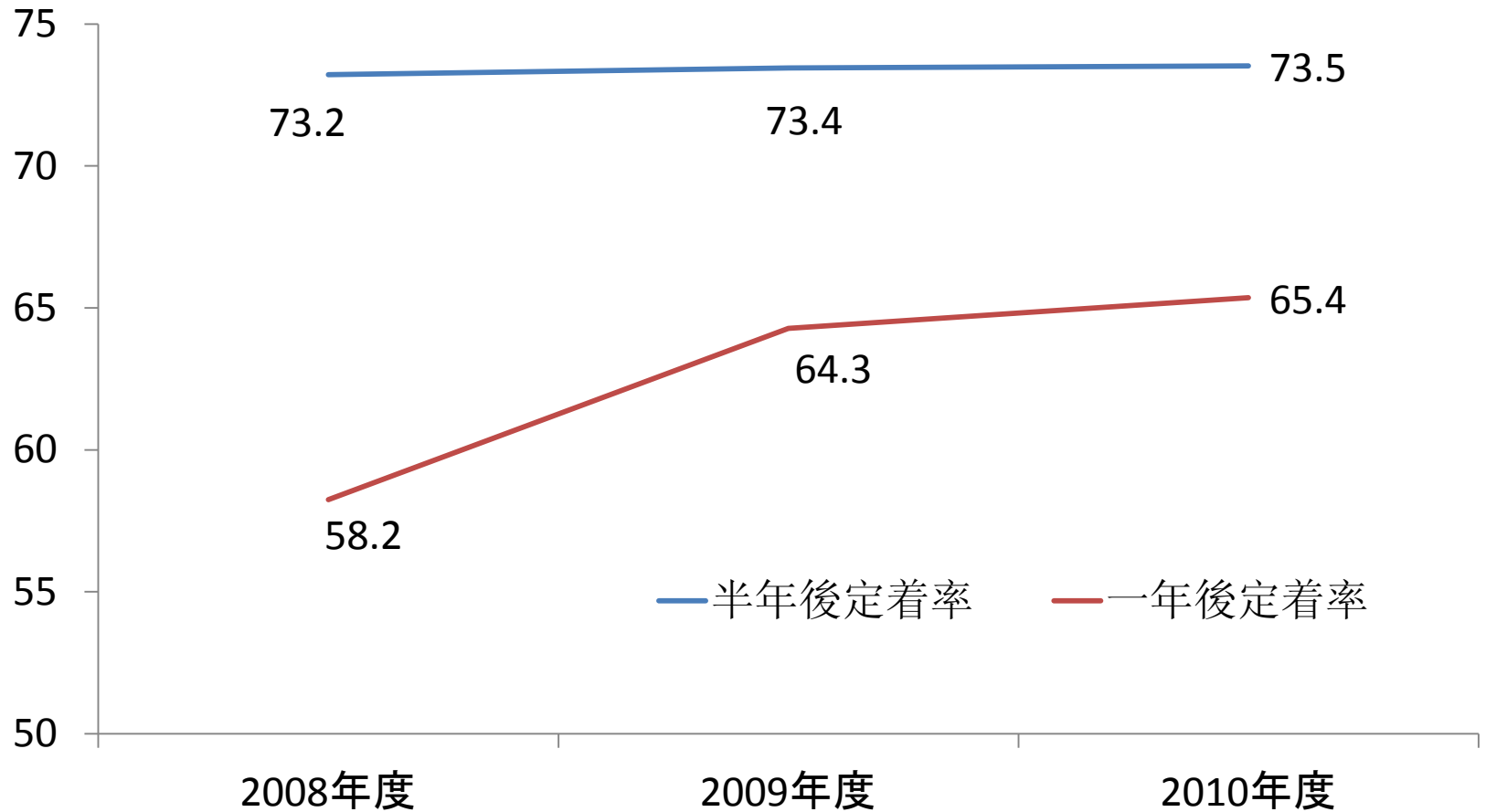
今後やってみたいこと(就移)



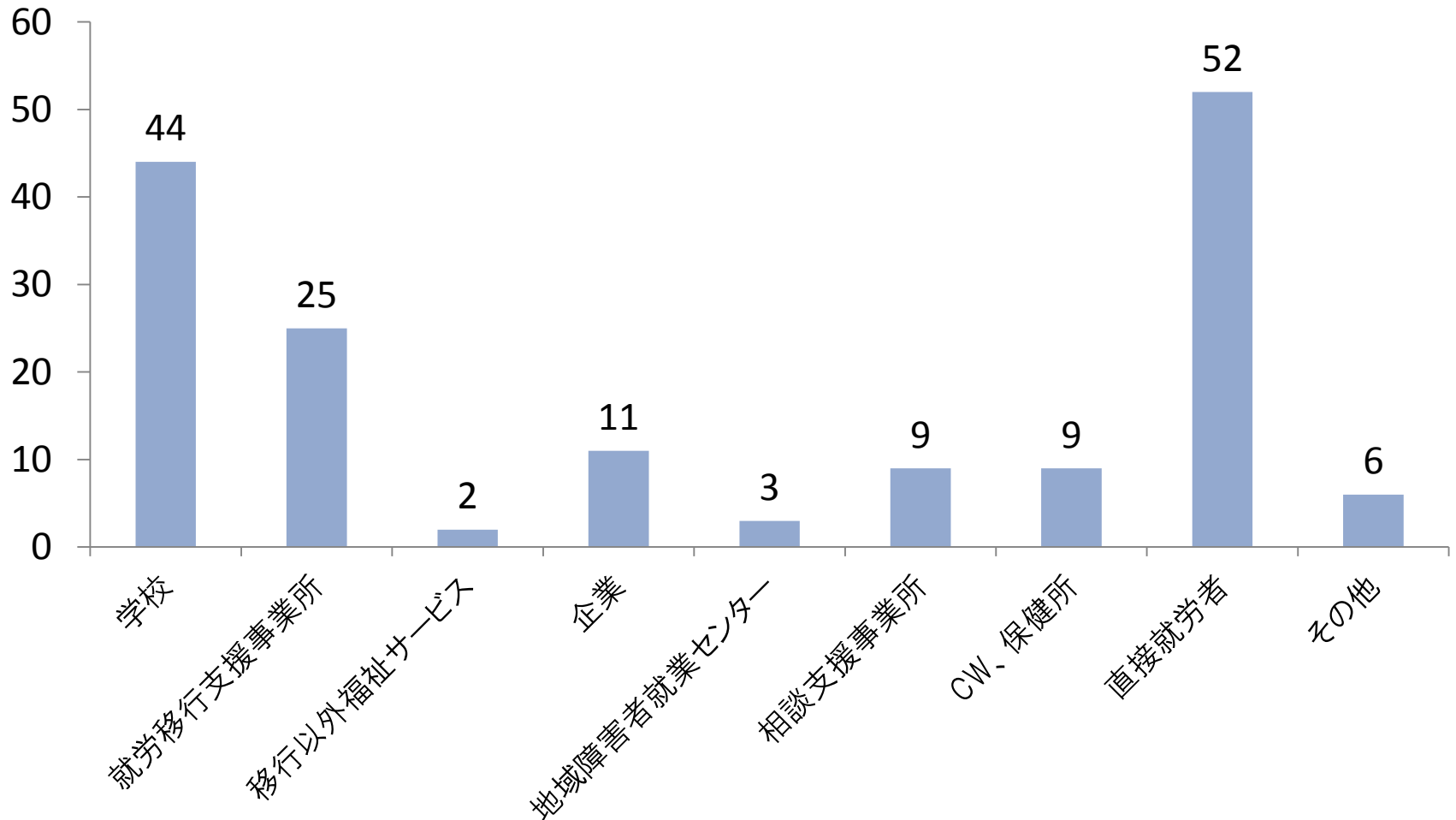
事業所からの就労者数(支援)



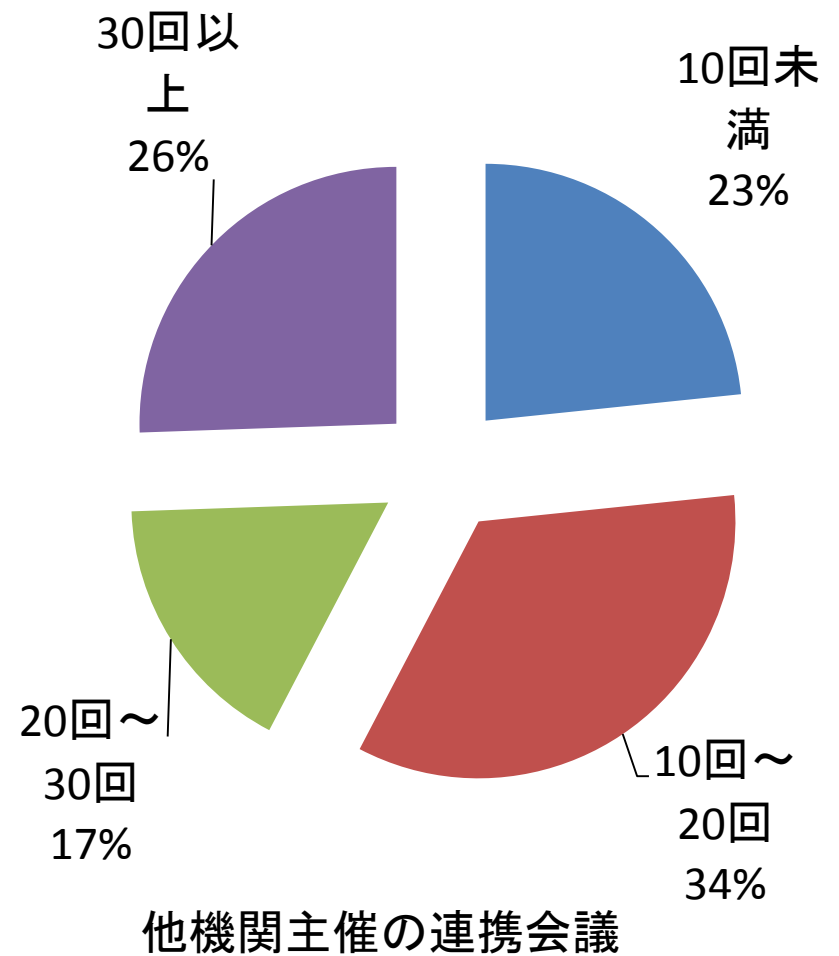
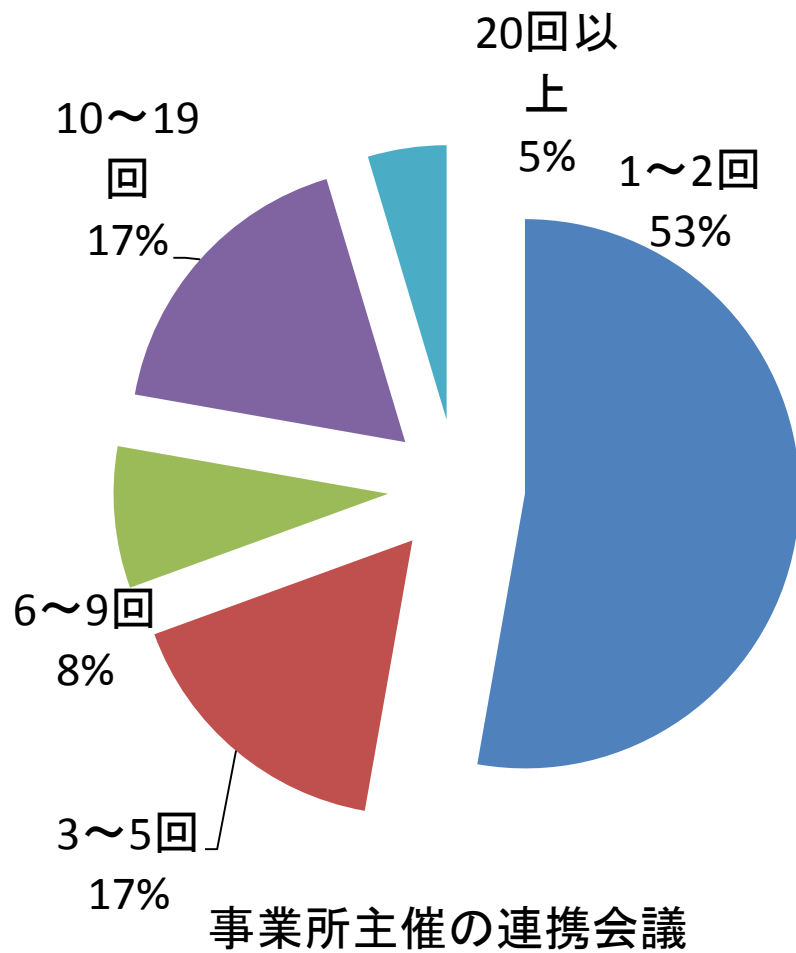
半年後と一年後の定着率(支援)



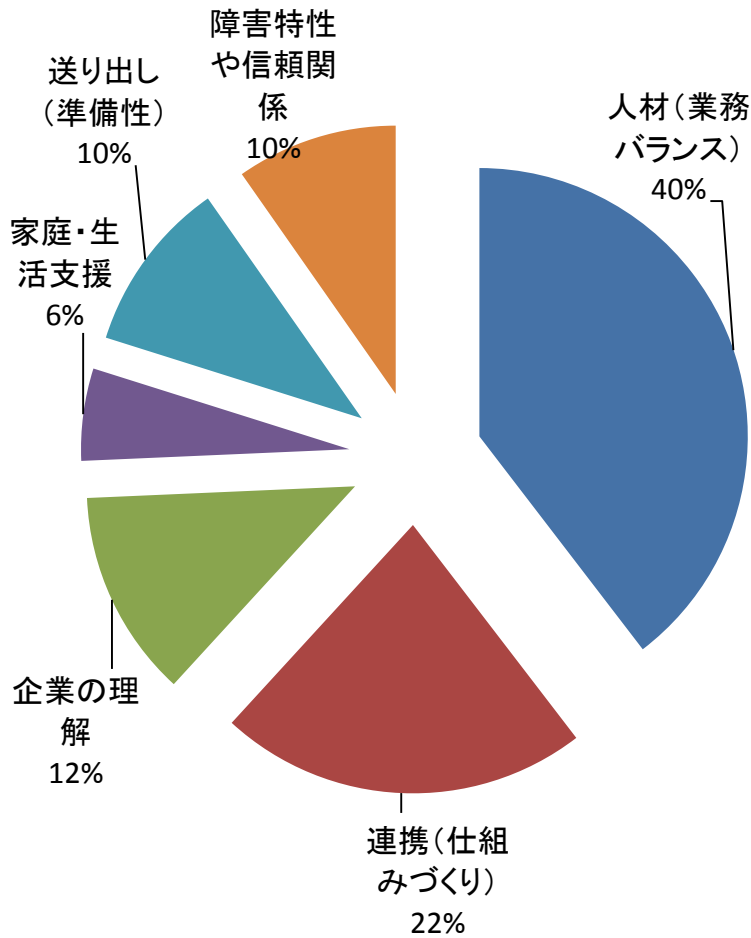
定着支援者の出身元(支援)



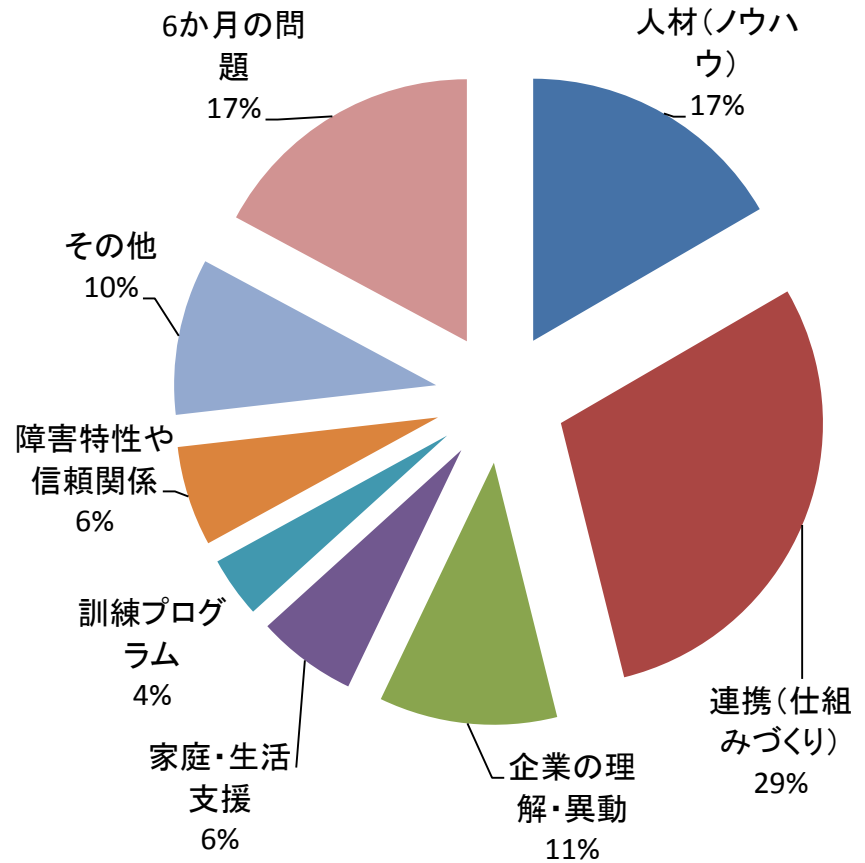
連携会議への出席頻度（支援）



現在の課題



支援機関



就労移行

アンケート調査結果のまとめ

- 就労移行支援事業所から就労後の定着率の減少
 - 就労後5年で5割ほど離職
 - 出身事業所が支援していた方が定着率が良い
- 支援機関への過度な負荷
 - 職員数平均4.5人
 - 毎月平均37名の就労者の定着支援
 - 年平均5回の連携会議
 - 年10回以上の他機関の会議への出席
 - 毎月9件程度の職場訪問
 - 毎月平均16件程度の企業支援
 - 求職者からの日々の相談対応
- 人手不足と連携の難しさ

ヒアリング調査にて(1)

- 地域ごとのネットワーク
 - 事業所間ネットワークが存在
 - やとってねっと(札幌市)
 - 世田谷スタイル(東京都世田谷区)
 - 東京都多摩地域の連携(棕櫚亭を中心に)
 - 宇部市障害者就労支援ネットワーク会議(宇部市)
 - 福岡市障がい者就労支援ネットワーク(福岡市)
 - 就労支援ネットワーク会議(奄美大島)
 - キーパーソンやキー法人が中心に

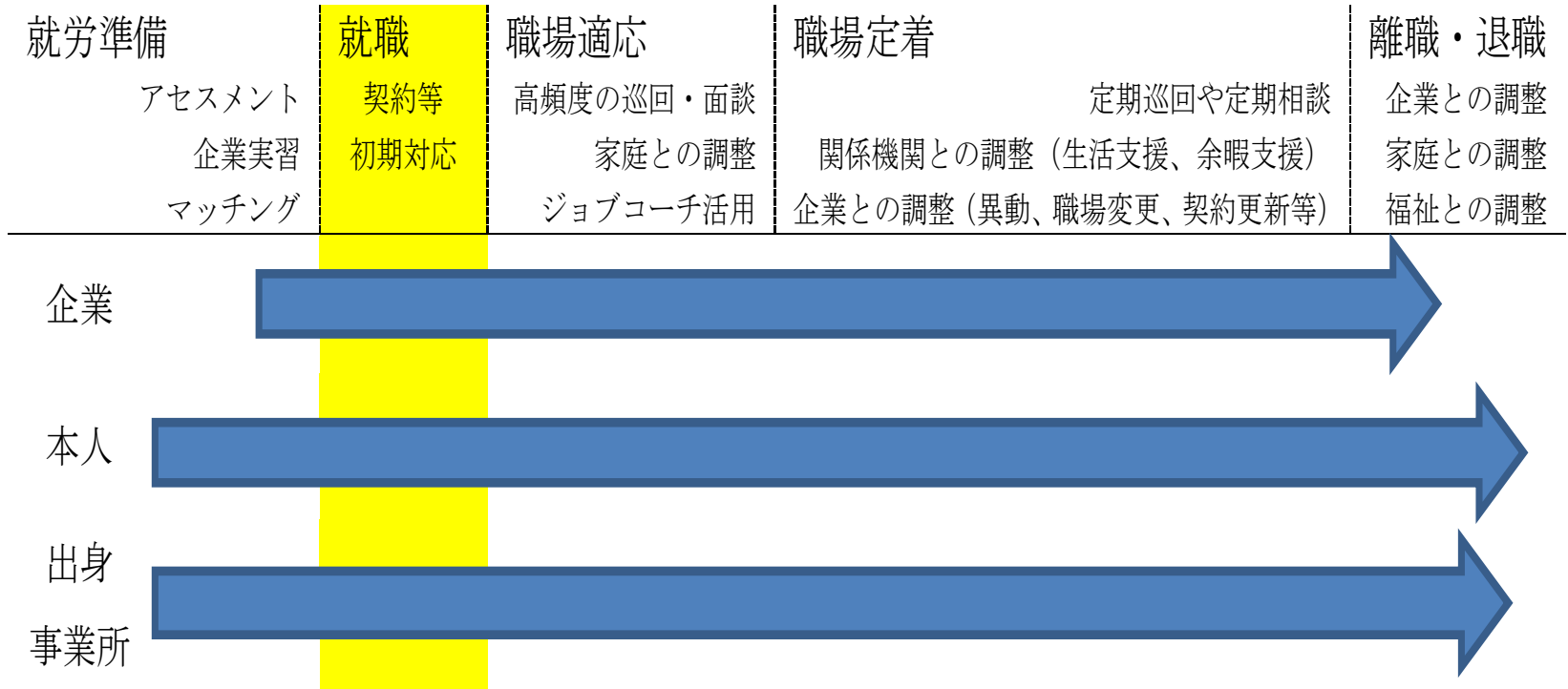
ヒアリング調査にて(2)

- 特色ある支援
 - 独自の支援
 - 就労支援室あるば(はるにれの里)
 - リレーションシップセンター(東松山就労支援センター)
 - 就労支援事業部(加島友愛会)
 - 立ち寄り場所
 - 世田谷区障害者生活支援センター「クローバー」
 - 駅の高架下であり、いつでも立ち寄れる
 - 社会福祉法人ドリームヴィの金曜クラブ
 - 毎月第三金曜日の集まり
 - 各務原市立各務原養護学校の地域支援センター
 - 養護学校の進路担当と教育委員会職員、行政が卒後の支援を恒久的に実施

定着支援を充実させるために

- 就労者の出身事業所による定着支援
 - 特別支援学校に専門の定着支援を
 - 就労移行支援事業に定着支援の算定を
 - 定着支援を事業所のプログラムに還元
 - 職場定着を視野に入れた育成プログラム
- 役割分担の明確化
 - 実務的ネットワークの充実が必要
 - 地域における障害者就業・生活支援センター等支援機関の役割
 - 障害者就業・生活支援センターの圏域は適正？

ナチュラルサポートは神話では？



地域の就労支援マイクロネットワーク

(ケースワーカー、職業センター、学校、就労移行支援事業所、障害者就業・生活支援センター、ジョブコーチ、相談支援事業所、グループホーム等)